



題字

初代会長 小幡美好筆

発行：令和6年7月
発行所：札幌市中央区北
2条西19丁目1-6-901
行政書士ふじい事務所内
札幌とどの実会
電話：090-3111-5545



ごあいさつ

会長

佐々木亮子(40期)

札幌とどの実会会員の活躍に想う

札幌とどの実会副会長の弁護士橋場弘之さん(56期)の今年の年賀状は「札幌医科大学の訪問研究員になり、医学部学生と一緒に基礎医学(昨年は生理学・解剖学)を学んでいます」と書いてありました。質問したところ、その回答を寄稿文にしてくれました。

読売新聞北海道支社稚内通信部の平野達雄さん(59期)が書いた現場記事が、昨年から今年にかけて何回も紙面で見かけます。還暦に近い?新聞記者さんの第一線で奮闘する姿が現場レポートになりました。

また、「野遊会」でお世話になっている熊野雅規さん(41期)からお誘いいただいて、男性合唱

団「ホクレングリーンコール」のコンサートをここ数年楽しんでいきます。友人はだしの実力と幅広いレパートリーで、札幌サンブラザや共済ホールなどの満堂を埋める集客力には脱帽です。まさに地域文化の担い手と言っている活躍ぶりです。

さらに、会報編集を一手に引き受けてくださっている荒井宏明さん(57期)は、60歳にして北海道大学教育学院修士課程に進学し「北海道における学校図書館の整備」について研究中です。本業の一般社団法人北海道ブックシェアリングが長年にわたり提言してきた読書環境づくりは少しずつ社会や行政を動かして始めているようです。

事務局長の藤井慎一さん(51期)は行政書士と

目次

- 寄稿
 - 「[知]への好奇心と文理融合」橋場弘之さん(56期) 2
 - 「国境の街のリアル伝え」平野達雄さん(59期) 3
 - 「六十年ぶりの再会」井浦睦夫さん(30期) 4
 - 「[成年後見制度の実務と現状]を聞いて」佐々木卓也さん(61期) . 4
 - 「合唱三昧!」熊野雅規さん(41期) 5
- 報告
 - 毎日柳壇大賞に34期の茂内義雄さん 5
- 親睦事業報告
 - パークゴルフ会・野遊会 6
 - ゴルフ会・囲碁会 7
 - お話しサロン 8
- 各期だより 9-11
- 校歌・応援歌・優勝歌 13
- 総会資料
 - 令和5年度事業報告 令和6年度事業計画 14
 - 令和5年度収支決算 令和6年度収支予算 15
- 役員・各期幹事・物故者 16

札幌とどの実会のホームページは
<http://sapporotodonomi.web.fc2.com/index.html>
北見北斗高校のホームページは
<http://www.kitamihokuto.hokkaido-c.ed.jp/>

して成年後見支援センターに所属し、何人もの高齢者の後見事務を支えていらっしやいます。以上記載の会員をはじめ、札幌とどの実会の会員はそれぞれのフィールドで地に足をつけて、地域になくてはならない仕事や活動をされている方たちばかりで、いつも敬服しています。次ページ以降に登場されますので、ぜひ一読ください。「札幌とどの実会報」は会員間のコミュニケーションツールなので「こんな人がある」「こんな活動もある」などの情報をお寄せいただければ幸いです。縁と絆の札幌とどの実会員同士、これからもよろしくお願いたします。